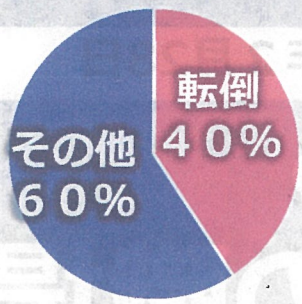
データで見る 富山県の冬季労働災害

令和７年度における富山県の冬季労働災害（12月～２月）に占める転倒災害の割合



令和７年度冬季労働災害のうち、約４割が転倒災害です。

積雪や凍結路面による「滑り」が、冬季の転倒災害の大きな要因となっています。 最低気温が氷点下を下回る日には、出勤時や移動中の転倒災害が多く発生しています。 しかし、転倒災害は単なる打撲では終わりません。骨折や長期休業につながるケースも多く、軽く考えてはいけない災害です。

⚠1 転倒災害の危険性について

転倒災害の約60%が骨折を伴っています。

転倒災害は単なる打撲では終わらず、骨折などの重傷につながるケースが多く見られます。

⚠2 転倒災害が与える影響

転倒災害の約45%が休業１か月以上となっています。

骨折による休業は長期化しやすく、労働者本人の生活に大きな影響を与えるだけでなく、職場においても人員不足や業務の遅れなど、さまざまな影響が生じます。



たかが転倒。
そう思っていませんか？

富山労働局公式キャラクター
らいちょうさん

労働者のメリット

・骨折や長期療養を防ぐことができる

事業者のメリット

・経験豊富な労働者の長期離脱を防ぐことができる
・人員不足や業務の停滞を防ぐことができる

⚠3 転倒災害防止対策について

・駐車場・通路の除雪、融雪剤の散布
・建物の出入口に吸水・防滑マットを設置
・耐滑性が高い靴の着用
・時間に余裕を持った行動
・手すりを利用する。

転倒災害防止対策はこちら▶
（職場のあんぜんサイト）



富山県 第14次労働災害防止推進計画（2023年度～2027年度）

2027年度までの目標

死亡災害
10人未満

死傷災害
1,000人未満

計画期間中の富山県の死傷災害発生状況

年	死傷者数
2023年	1245人
2024年	1278人
2025年	1243人

目標達成のためには発生件数が最も多い転倒災害の減少が重要です。

富山労働局・各労働基準監督署

冬季無災害運動

取組期間：令和８年12月１日～令和９年２月28日

みんなで築こう
安全・安心な冬の職場



凍結路面での転倒



Point

- 耐滑性の高い靴の着用
- 滑止めマット等の使用
- 転倒危険表示、危険箇所の周知
- 照度の確保

屋根雪下ろし中の墜落



Point

- アンカー、親綱等の設置
- 保護帽、墜落制止用器具の使用
- ２人以上での作業
- 昇降設備の転位防止

除雪機回転箇所への巻き込まれ



Point

- 調整時等はエンジン停止、電源オフ
- 安全装置を無効化しない
- 除雪エリアへの立入禁止
- 運転時の合図の徹底

凍結積雪による交通事故



Point

- 早期の冬用タイヤへの履き替え
- 急ブレーキ、急発進の禁止
- 時間に余裕を持った走行管理
- 気象情報、危険箇所の共有

目指そう、冬季災害ゼロ！

新潟・富山・石川・福井・長野労働局・各労働基準監督署